

## 7. 病院群の構成等

様式A-10別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 足利赤十字病院 （栃木県）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
栃木県	両毛	足利赤十字病院 (病院施設番号: 030109)		栃木県	県南医療圏		獨協医科大学病院 (病院施設番号:030107)		栃木県			安足健康福祉センター (病院施設番号: )			
				北海道	日高医療圏		浦河赤十字病院 (病院施設番号:050030)		栃木県			たすけあい (病院施設番号: )			
				東京都	区西部保健医療圏		慶応義塾大学病院 (病院施設番号:030214)					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

「地域医療研修」は2011年度から地域の医師不足緩和や基礎的診療能力の向上を目的として、研修場所を従来の保健所等から中小病院などに限定された。当院は改正の1年前から北海道の浦川の医師不足を配慮し、前倒しで浦川赤十字病院を研修場とした。以来、毎年2年次の研修医が地域医療研修を行っている。各内科専門領域のプログラムの充実、慶應義塾大学からの研修医確保を目的に慶應義塾大学病院を研修施設とした。毎年、慶應義塾大学より多くの研修医が当院で研修を行っている。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。